



最少催行人員 専門ガイド同行 総監修(講師)

コースNo. 116 ★東京発着

～地球緑化クラブ 村の緑化活動と自立支援～

モンゴル・トングリ村植林活動と交流スタディツアー

5日間

旅行代金(成田発着) お一人様あたり

出発日	旅行代金(燃油サーチャージ込)
8月22日(土)	279,000円
9月12日(土)	259,000円

1人部屋追加代金(ホテル泊のみ) 16,000円

- 食事:朝食3回・昼食2回・夕食3回(機内食を除く)
- 最少催行人員:8名(最大14名まで)
- 添乗員:成田発着で添乗員が同行します。
- 利用予定ホテル:下記の別表をご覧ください。
- 利用予定航空会社:モンゴル航空(全区間エコノミークラス)
- パスポート残存有効期間:モンゴル到着時に6ヶ月以上。
(日本国籍以外の方は大使館にご確認ください)
- ビザ:30日以内の滞在は不要(日本国籍のみ)

【旅行代金に含まれないもの】

- 地球緑化クラブ年間会費、緑化協力金 ※1

※1

地球緑化クラブ年間会費、緑化協力金
■会費:学生3,000円 一般5,000円
■緑化協力金:学生10,000円 一般15,000円

現地にて添乗員が日本円で徴集いたします。

日程	
1	<p>東京 ウランバートル</p> <p>東京→ウランバートル(直行) 【午後】モンゴル航空にてモンゴルの首都ウランバートルへ。 【夜】ウランバートル到着後、日本語係員がお出迎え、専用車にて市内ホテルへお送り 自由夕食</p> <p>☑ウランバートル泊 ☑</p>
2	<p>ウランバートル トングリ村</p> <p>ウランバートル→(列車)→トングリ村 【午前】地球緑化クラブ現地スタッフと合流、列車でセレング県トングリ村へ。 トングリ村到着後、ホームステイ先へ(水洗トイレ、温水シャワーが使えます) 【午後】昼食後、スーパーにて買出しや植林活動の準備。 地球緑化クラブ原代表より、緑化活動や村での植林活動についてご説明。その後、村の子どもたちと植林活動。 【夜】星空観察会(曇天中止)</p> <p>☑ホームステイ ☑</p>
3	<p>トングリ村滞在</p> <p>【午前】植林活動 【午後】小学校訪問。校内見学。環境教育教室の実施。寄付金・お土産の贈呈。その後、育苗施設見学、軽作業。(→9/12の場合) ※8月は学校がお休みです。村の子どもたちと植林など行います。 団体の取り組み、モンゴル、村の砂漠化、違法伐採の現状、目標などを共有し、より良い活動や取り組みを現地スタッフや参加者で考えます。 天気の良い日は、満天の星空が楽しめます</p> <p>☑ホームステイ ☑</p>
4	<p>トングリ村 ウランバートル</p> <p>トングリ村→(寝台列車)→ウランバートル 【早朝】寝台列車でウランバートルへ(走行時間:約3時間18分) 【午後】ウランバートル駅到着後、市内レストランにて朝食。 その後、スーパー広場、メルクーリ(食品市場)にてショッピング。 【夕刻】民族音楽コンサート鑑賞 【夜】ホテル内レストランにて夕食</p> <p>☑ウランバートル泊 ☑</p>
5	<p>ウランバートル 東京</p> <p>ウランバートル→(直行便)成田空港 【早朝】空港へお送り 【午前】モンゴル航空にて帰国の途へ(飛行時間:約4時間45分) 【午後】成田空港到着</p> <p>☑</p>

旅行企画・実施 (株)風の旅行社 企画協力 (株)ピース・イン・ツアー

※上記日程は、現地事情により変更となる場合がございます。

利用ホテル・宿泊施設	
【ウランバートル】	フラワーホテル
【トングリ村】	ホームステイ(男女別の相部屋)

参考図書

- ◆もっと知りたい国 モンゴル 西村幹也 心交社
- ◆旅の指さし会話帳 16 モンゴル 情報センター出版局



「地球緑化クラブ」代表理事:原 鋭次郎氏からのメッセージ

「一般社団法人 地球緑化クラブ」は現地に根付いた継続的な緑化活動を実践することを目的に設立されたボランティア団体です。モンゴル・トングリ村においては、2015年より現地の方々と共に緑化活動を継続的に行っています。しかし、広大な土地での緑化活動には、多くの方々のご協力も不可欠です。本ツアーは、日本の方々にも緑化活動を手伝っていただきたいという思いから企画いたしました。現地の方々と共に汗をかき、モンゴルの土地を緑に変えていただきたいと思っています。作業は老若男女問わず簡単に行えます。ツアー中はトングリ村にホームステイしていただき、現地の方々との交流もお楽しみいただけます。また、澄んだ空気の中に浮かぶ満天の星空も大変魅力的です。観光だけではなく、社会貢献も目的とした『植林活動と交流のツアー』に、是非ご参加ください。

モンゴル・トングリ村植林活動の経緯

◎モンゴル砂漠化の原因は「違法伐採」

砂漠化が深刻化したのは90年代。市場経済への移行に伴い違法伐採が横行。山火事(自然発火やタバコのポイ捨て)によって森林が減少。2007年の森林法により違法伐採は厳罰化されましたが、生態系の自然回復は難しく、現在は国土の約90%で砂漠化が進行しています。



◎信頼できる現地パートナーとの出会い

地球緑化クラブは、約20年内モンゴル自治区にて活動を続け、2008年、違法伐採でハゲ山となったトングリ村の有志が森林保護グループを設立。地球緑化クラブのパートナーとなり、2015年よりプロジェクトがスタート。2016年より年2回、植林に適した時期(春と秋)に参加者を募り開催。村での植林活動が多くの雇用を生み出せるよう、自立化を目指しています。



◎生態系の再生を目指します

「はげ山化」していたトングリ村の山々。地球緑化クラブではかつての生態系を調べ、自生種をどのように効率的に回復させるかをカギに、方針を固めました。また、温室などの育苗施設も整備し、苗木を自給化することにより活動の自立化も目指しています。2015年から始まったトングリ村での植林活動を皮切りに、周辺各地での生態系回復を目指しています。



◎子どもたちへの環境教育

トングリ村の子どもたちに将来の夢の絵を描いてもらったところ、多くの子が違法伐採された木材を運ぶトラックの絵を描いていました。違法伐採は禁止されたものの、子どもたちには森を守るという意識はまだ生まれていませんでした。子どもたちに森林保護意識を高めてもらうために、村の小学校で環境学習教室を開催。絵本やアニメ映画などを活用し、興味を持ってもらうよう工夫しています。

